

グローバルCOEプログラム「テクスト布置の解釈学的研究と教育」第8回国際研究集会

9月3日(木)

- 14:00-14:15 開会の辞 佐藤彰一
- 14:20-15:05 Anna KŘIVÁNKOVÁ [カレル大学博士後期課程 日本文化史]
少女の進化論 — 少女漫画における主人公の変化
- 15:05-15:50 重見晋也 [名古屋大学准教授 フランス文学・電子テクスト学]
ハイパーテクストによる物語の生成
— 筒井康隆『朝のガスパール』と中野実『電車男』の比較から
- 15:50-16:35 石井紫郎 [東京大学名誉教授 日本法制史]
思想とテキストの間 — 日本学生野球憲章の改正作業の現場から

9月4日(金)

- 9:45-10:30 深津周太 [名古屋大学博士後期課程 日本語学]
日本語指示詞の感動詞化 — その異例としての「アレ」
- 10:30-11:15 玉田沙織 [名古屋大学博士後期課程 日本文学]
和歌の受容と翻訳 — 文化的コンテクスト共有化のために
- 11:15-12:00 阿部泰郎 [名古屋大学教授 日本中世宗教思想史]
聖徳太子絵伝の世界像 — 平安朝における太子信仰テクストの複合的生成とその布置
- 13:45-14:30 青木慎一 [立教大学博士後期課程 日本文学]
スペンサーコレクション蔵の奈良絵本源氏物語について — 挿絵の場面選択にみる物語解釈
- 14:30-15:15 Martin TIRALA [カレル大学准教授 日本文学]
歌物語の中での理想的な男性像と恋愛のパラダイム
- 15:30-16:15 Tzvetana KRISTEVA [国際基督教大学教授 日本中世文学]
翻訳が促す和歌の特徴、和歌があらわす古代日本人の思想
- 16:15-17:00 高橋 亨 [名古屋大学教授 日本文学]
『源氏物語』解釈と後宮文化の異文化コンテクスト

9月5日(土)

- 9:45-10:30 古尾谷知浩 [名古屋大学准教授 日本史学]
日本古代における律令規定と行政文書 — 災害による租税免除をめぐる
- 10:30-11:15 David LABUS [カレル大学准教授 日本史]
幕末時代の儒者の「解釈」的なアプローチについて
- 11:15-12:00 池内 敏 [名古屋大学教授 日本史学]
于山島考 — 文献・古地図および研究史の整理
- 13:45-14:30 釘貫 亨 [名古屋大学教授 日本語学]
日本語ヴォイスの歴史的成立と展開について
- 14:30-15:15 松澤和宏 [名古屋大学教授 フランス文学・一般言語学]
ソシュールの翻訳と解釈 — 時枝誠記・三浦つとむの『一般言語学講義』批判をめぐる
- 15:15-16:00 Zdenka ŠVARCOVÁ [カレル大学教授 日本言語学・日本文学・記号論]
翻訳しにくい小町の歌
- 16:00-16:15 総括

2009年9月3日(木) — 5日(土)

プラハ・カレル大学(チェコ) FF UK v Praze, UDLV Celetná 20, m.č. 425 116 42 Praha 1